

プラスチック製品製造業における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	9~10	当社工場にて、高さ1.0mの方々の上に置いてあった治具（連結板重量12kg）を床に置いてあるパレットへ載せ替える作業を行っていた。治具を1人で持ち上げパレットへ置こうとした際腰を痛めた。	53	100～299
6	11～12	①会社工場内において、原反ロールの交換を2人で作業をしていた。左側に被災者、右側に共同作業で、原反ロール中心の紙管に原反ロールを吊る為の棒を装着し、両側から固定するアダプター的な物の取付中に、棒が動かないように共同作業者に押し付けていてもらった。押しが弱いので、共同作業者に「押して」と指示をしたが、逆に引っ張られてしまい、固定するため押さえていた被災者の親指が反対側に曲がってしまった。②会社工場内において、自動成型機の操作中に、荷物を運んでいるその他の従業員が被災者の後ろを通った時に、材料の角が背中に当たり、その痛みで動いた際に首の右側を捻ってしまった。	45	1～9
7	1～2	MS5号機にてマット生産時に、端末を持ったときに左手に「チクッ」と感じ、反射的に左手を放したときに落下し、左足の甲に当たり受傷した。安全靴を着用していたが、プロテクターのない部分に当たり受傷した。	22	50～99
10	11～12	梯子のない場所から成形機の上に腕の力だけでよじ登ろうとしたところ、右肩に強い負荷が掛かり負傷した。	46	50～99

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html